

「日本一の芝生校庭」なんつる 芝生大百科 5年生用

年 組 氏 名 _____

「芝生（しばふ）の仕事いろいろ」

休み時間や体育の時間になると、たくさんの子どもたちが校庭に出てきて、芝生の上で活発に活動している様子が見られます。鶴っ子にとって当たり前の光景ですが、みなさんは校庭のこの芝生がどのようにして保たれているか、知っていますか？

まず芝生を健全に保つためには、①適切に芝かりをする②水、養分を十分に与え、太陽の光が当てるの2つのことが大切になります。①が不適切だと草がのび放題になり、あれた草地となってしまいます。また②が不十分だと、所々の芝生がかれて、まだら模様の芝になってしまいます。いずれも、つまずいたり足を取られたりして、危険です。

それでは芝生管理の一年を見てみましょう。なんつるの校庭には夏芝（ティフトン＝競技場用のやわらかい芝）の上に冬芝（ペレニアルライグラス）を育てています。それは、①1年中緑の芝生にしておくこと、②冬に夏芝がすり切れるのを防ぐこと、が主な目的です。運動会を終えたら冬芝を短くかって、夏芝が成長できるようにしています。このようにして育てている芝生を4月～11月にかけて、毎週土曜日に、各クラスの保護者の方やスポーツクラブの方がボランティアで芝かりをしています。4年生以上は年に1回授業でやるので、みなさんも経験があると思います。「芝かり作業」と一言で言いますが、実に多くの種類の作業があります。

作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
芝刈り	ボランティアの作業											
施肥	▲▲▲	▲▲▲	▲▲▲	▲▲▲▲	▲▲▲▲							
トランジション (夏芝成長のため)				▲ 夏芝補植								
播種(冬芝)						▲						
養生シート	冬芝シーズン			夏芝シーズン				冬芝シーズン				
	ボ作業											

★雑草抜き、小石・ゴミ拾い

木や石は裸足になった時に危険だったり芝刈機の刃をいためたりします。かれた葉や芝生は土をねん土のように固めてしまいます。それで、芝かり前に取りのぞきます。

- ・落ち葉や木の枝
- ・雑草（※特にクローバー、タンポポは見つけたら根こそぎ取るようにしてください。）
- ・金属やプラスチック、小石、その他

★芝かり

- ・一列にならんで進む。
- ・遠くの目標物を見ながら真っ直ぐ進む。
- ・となりの人がかった芝の上に半分重なるようにして進む。



★養生シートかけ

養生シートかけは、主に12月～3月の寒い時期に行う作業です。なんつるの芝生では、3分の1ずつシートをかけて、かかれてしまわないようにしています。そのためにはシートを移動させなくてはなりません。

★その他の作業

その他にも、芝生を直したり（外側にのびた芝を内側のグラウンドのはげた所に移植する）、サッチ（芝生のゴミ）を取りのぞいたりします。かった芝はプールの裏などによく広くまいて、自然に分解されます。月に1回は肥料をやります。作業の終わりには、スプリンクラーで水をまきます。

私たちではできない作業はせん門の業者におねがいします。6月にはエアレーション（穴あけ）やバーティカルカット（垂直に刃を入れて空気を入れる）をして、おし固まった地面をやわらかくします。また、10月にはエアレーションと冬芝の種まきをして、砂をまきます。



肥料やり



移植



サッチ取り

いかがでしたでしょうか。なんつるの芝生管理の1年について、何か知っていたことはありましたか。このようなたくさんの苦勞があつて、みなさんが当たり前のように使っている芝生の校庭が保たれているのです。なんつるの校庭芝生は、東京の小学校としては最大規模です。（約5千㎡）これからも、この日本一の芝生を未来の鶴っ子が当たり前のように使っていくことができるように、みんなで大切にしていきたいですね。

芝生のいいところ

その1：体にいい

- 雨が降っても、やめばすぐに校庭を使うことができます。だから、たくさん運動して体を鍛えることができます。
- 冬の間、霜（しも）がとけて校庭が使いなくなることはありません。
- 夏季はすずしい。砂ぼこりが立ちません。

その2：頭や心にいい

- 芝生を使って自然体験や環境について学ぶことができます。
- 外遊びの機会が増えて、友達との関わり方などを学ぶことができます。

その3：何より気持ちがいい

- 芝生の校庭は転んでもいたくありません。けがをしにくくなります。（すり傷がほとんどなくなりました）
- 緑の芝生にねころんで青い空を見上げると気持ちが落ち着きますね。
- 手をついたり転がったりするような土の校庭ではできない動きをしやすくなります。